

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 旭東小学校

担当教諭名 井川 美奈子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成22年12月1日(水) 13:55 ~ 15:30
対象学年と人数	第4学年2クラス 計47人
派遣講師名と出身国	ソン ヒジョン 韓国 ト ケン 中国
活動の内容	それぞれの国の紹介 ・生活の様子, 文化, 映像での紹介 ・昔の遊び 韓国—チェギチャギ 中国—おにごっこ
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	事業に参加しての意見・感想 ・パソコンや実物を使って国の様子を見せていただき, 分かりやすかった。児童がとても興味をもって一生懸命に話を聞いていました。・子供達は事前に質問事項を考えていたので, 質問がスムーズにできました。・それぞれの国の昔遊びを教えてもらい, 体験しながら講師の方と一緒に遊べて楽しみました。もっと時間があればよかったと思いました。
生徒・保護者等参加者の感想	私は初めて韓国の方にお会いしましたが, 日本人とあまりかわらないなと思いました。大学に通っているのだから, 日本語がとても上手だと思いました。パソコンで町の様子や国の特徴を見せてくれたので, 世界には日本と違うところがたくさんあることがよくわかりました。 次に韓国の食べ物や中国の食べ物が違うということです。韓国は辛いキムチが有名ですが, 「日本のキムチは甘いよ。」とソン ヒジョンさんが言っていたので驚きました。また, 中国の甘栗やアンズは日本でも知られていましたが, 中国からはいつてきたものだとは思いませんでした。身近な国の様子が分かりもっと他の国へ行ってみたいと思いました。
先生の感想	児童に話をもちかけるとすぐに興味をもって, パソコンでアジアの国を調べていました。当日まで児童が一生懸命に準備をしていました。 お二人ともパソコンで国の様子を見せていただき, とても分かりやすく, 児童から聞かれたことにとても丁寧に答えていました。児童はもっと聞きたかった様子でした。 それぞれの国の昔遊びを紹介していただき, 一緒に遊びました。日本にはない遊び方や似たような遊びがあることを知り, 楽しむことができました。 貴重な体験ができて, 世界に目を向けていってほしいと思いました。

